

議会だより

Vol.
201
2020.1.23



12月の
定例会

② 周辺地域の安全確保へ
第三原発の廃炉に係る協定を承認!!

④ こんなことが決まりました
定例会・臨時会 報告

⑩ 全員協議会報告
特定復興再生拠点区域の本格復興へ

⑬ 原子力等特別委員会 報告
安全な燃料取出し・追加賠償判断基準明確化など

令和の時代を担う新成人／富岡町成人式(学びの森)

周辺地域の安全確保へ 第二原発の廃炉に係る 協定を承認!!



【東京電力ホールディングス株式会社福島第二原子力発電所の廃炉の実施に係る周辺地域の安全確保に関する協定書(一部抜粋)】

(前文)

福島第二原子力発電所の廃炉は、福島県内原子力発電所の全基廃炉に至った特殊性を踏まえ、事故を起こした福島第一原子力発電所の廃炉と総合的に進めていく必要がある。このため、東京電力ホールディングス株式会社は、安全な廃炉を実現するための人的なリソース配分や楡葉町及び富岡町の復興に向けた地域の振興に配慮した工程となることを両町に丁寧に説明しながら、全社を挙げて廃炉に取り組む責務がある。

(東京電力ホールディングスの責務及び関係法令等の遵守等)

第1条 東京電力ホールディングス株式会社は、発電所の廃炉に向けた取組に責任を持ち、安全かつ着実に取組むものとする。

(施設の新増設等に対する事前了解)

第3条 東京電力ホールディングス株式会社は、廃止措置計画の認可申請を伴う施設等の新増設、変更又は廃止をしようとするときは、事前に福島県及び楡葉町・富岡町の了解を得るものとする。

(立入調査)

第7条 福島県、楡葉町及び富岡町又は協議会は、次に掲げる場合は、発電所への立入調査を行うことができるものとする。

- (1) 発電所周辺の環境放射能等に関し、異常な事態が生じた場合
- (2) 発電所の廃炉に向けた取組の実施状況等に関し、特に必要と認められた場合

(適切な措置の要求)

- 第9条 福島県、楡葉町及び富岡町又は協議会は、発電所の廃炉に向けた取組の安全確保のため特別な措置を講ずる必要があると認めるときは、東京電力ホールディングス株式会社に対して、適切な措置を講ずることを、又は国に対して、東京電力ホールディングス株式会社が適切な措置を講ずるよう指導・監督の徹底を求めるものとする。
- 2 東京電力ホールディングス株式会社は、前項の規定に基づき、福島県、楡葉町及び富岡町又は協議会から適切な措置を講ずることを求められたときは、速やかにこれに応ずるとともに、講じた措置の内容等について、福島県、楡葉町及び富岡町又は協議会に対して、適時報告するものとする。

(損害の補償・賠償)

第11条 発電所の廃炉に向けた取組の実施に起因して周辺地域住民の生命、身体又は財産に損害を与えた場合、東京電力ホールディングス株式会社は、福島県又は楡葉町及び富岡町の意見を十分踏まえつつ、原子力損害の賠償に関する法律その他関係法令に基づき、適切に補償又は賠償するものとする。

(情報の公開)

第12条 東京電力ホールディングス株式会社は、発電所の廃炉に向けた取組の実施内容及びその状況について、福島県及び楡葉町・富岡町に説明し、また福島県及び楡葉町・富岡町の議会の求めに応じて説明するとともに、周辺地域住民をはじめ県民に対し積極的に説明、情報公開を行い、透明性を確保するものとする。

(放射性物質の排出管理)

第14条 東京電力ホールディングス株式会社は、発電所から放出される気体、液体等に含まれる放射性物質濃度について、関係法令等に定めるところにより管理するほか、周辺環境に影響を及ぼさないことを定期的に確認するものとする。

(作業員の安全衛生対策)

第15条 東京電力ホールディングス株式会社は、発電所の廃炉に向けた取組に携わる人材の安定確保を図るため、作業環境の改善、作業員の健康管理、雇用の適正化等の安全衛生対策について積極的に取組むとともに、長期的な計画に基づき、人材の育成に取り組むものとする。

答 副町長
この協定はあくまで包括協定であり、今後示される廃止措置計画の中で解体廃棄物の取り扱いも示されることから、その都度確認し、対応を申し入れていくものと考えています。

答 副町長
使用済核燃料については、県外搬出が記載されているが、解体廃棄物についても搬出について記載すべきと考えるが、(安藤正純)

答 副町長
町民目線で網羅することもあり、必要と認識しており、広報等しっかり届くように情報提供していきます。

答 生活環境課長
市町村からの代表者ということで選出はしているものの、選任方法に関する意見については、団体に伝えていきます。

問 住んでいて不安を感じている町民が団体に選出されるような方法の検討は、(宇佐神幸一)

答 生活環境課長
専門家、住民それぞれの団体が組織されており、そういった場で東電に分かりやすい説明を求めています。

問 専門家と住民では不安に違いがある。住民目線に立った情報公開を願う。(宇佐神幸一)

答 生活環境課長
今回の文言は第1原発の協定と同様の文言となっており、ことから、必要な補償・賠償は担保されるものと認識しています。

問 損害の補償・賠償で関係法令に基づきとあるが、事故が起きている現状を踏まえ相当の因果関係に踏み込んだ文言にすべきでは。(遠藤一善)



工事変更契約

【補修範囲増及び工法変更による増額】

富岡第二小学校体育館等災害復旧工事に係る契約金額の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

○契約金額 《変更前》84,150,000円 《変更後》94,796,900円

○変更理由

災害復旧工事の施工内容に変更が生じ、通路、外壁のクラック補修の範囲増及び多目的室の床貼替工法の変更、屋根改修が必要となったもの。

【施工内容追加による工事費増額】

曲田都市計画街路3号線外整備工事(その2)に係る契約金額の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

○契約金額 《変更前》53,955,000円 《変更後》62,385,400円

○変更理由

工事進捗に伴い放射能高濃度土壌の処分及び既設法枠の取り壊しによる撤去処分が必要となったもの。

【12月定例会のあらまし】

令和元年12月定例会は12月11日から12日まで2日間の会期で開催しました。

条例の制定・改正案件や工事請負契約の変更案件、令和元年度補正予算など、20件の議案及び人事委員勧告に基づく条例の改正案件など8件の追加議案、計28件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では2議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。

【帰還困難区域内舗装復旧工事】

坊小屋桜通り線外舗装復旧工事の請負契約について、可決しました。

(10月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

○工期 令和2年3月19日まで

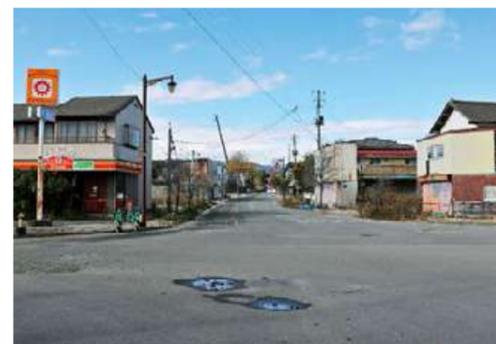
○契約金額 4928万円

○工事概要

特定復興再生拠点区域内、先行解除路線を含めた路面復旧工事

○契約相手方

大熊町大字熊字新町275 東亜道路工業株式会社 大熊出張所



先行解除に向け早期復旧が求められる

【道路築造工事及び地盤改良工事】

曲田都市計画街路4号線築造工事の請負契約について、可決しました。

(10月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

○工期 令和2年8月31日まで

○契約金額 1億9668万円

○工事概要

軟弱地盤対策の地盤改良工事、補強土壁工法による道路築造工事

○契約相手方

富岡町大字本岡字王塚332-3 株式会社 高葉建設



整備が進む富岡駅前道路

工事契約

こんなことが決まりました。

人事案件

人権擁護委員として適任である 坂本 栄司さん

人権擁護委員の任期満了に伴い、坂本栄司さんを適任であると決議しました。

2期目となる坂本栄司さんの任期は、令和2年4月1日からの3年間です。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

人権擁護委員として適任である 高岡 英一さん

人権擁護委員の任期満了に伴い、高岡英一さんを適任であると決議しました。

2期目となる高岡英一さんの任期は、令和2年4月1日からの3年間です。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【シロアリ・老朽化の影響による増額】

大原本店旧店舗改修工事に係る契約金額の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

○契約金額 《変更前》74,813,200円 《変更後》84,619,700円

○変更理由

シロアリ被害、老朽化した外壁に対する設計変更により全体的に構造材補強等の追加工事が生じたもの。



深刻なシロアリ被害を受けた柱

条例制定

富岡町森林環境譲与税金条例を定める

森林環境譲与税を森林整備及びその促進に関する施策に要する資金として基金積立するための条例を可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

会計年度任用職員の給与等に関する条例を定める

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与等に関する必要な事項を定める条例を可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

工事変更契約

【台風・豪雨による追加施工】

家老ため池放射性物質対策工事に係る契約金額の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

○契約金額 (変更前)340,695,400円 (変更後)291,526,560円

○変更理由

施工範囲において施工深度に変更が生じた為、追加施工はあるものの、全体的に減額となったもの。

【台風被害に伴う工期の延長】

毛戸ため池放射性物質対策工事の工期の延長について、可決しました。

(10月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

○工期 平成32年2月28日までは令和2年3月31日に変更

○変更理由

台風19号による豪雨災害の影響による増水に伴い工期の延長が必要となったもの。

スバリ!! 町政を問う



2議員が質問

12月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 安藤 正純 議員 8



- 廃炉による歳入不足対策は
- 台風・大雨からの反省と対策は

2 早川 恒久 議員 9



- 町内に大学院大学の誘致を
- 富岡駅前のにぎわいづくり早急に進めるべき



動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

議員が切り込む!! 質疑応答

〔曲田都市計画街路4号線築造工事〕

問 工事に際し、道路通行止め等は発生するか。(堀本典明)

答 都市整備課長

通行止めの期間が1週間程度発生する可能性があるため、可能な限り通行を確保しつつ早期の広報を実施し安全に進めます。

〔町道舗装復旧工事〕

問 解体工事等の他工事との調整、工程管理しっかりと実施願う。(渡辺三男)

答 都市整備課長

現場内でも解体工事等、今後更に増えてくると考えています。発注元と十分協議、調整を実

実施管理していきます。

問 帰還困難区域内の舗装工事に際し、一時帰宅する住民の通行や駐車に支障がないよう対応を。(遠藤一善)

答 都市整備課長

交通誘導員等も配置しながら、なるべく片側通行は確保したいと考えています。

答 住民課長

工事について注意を促しつつ、国と情報を共有しながら前もって周知していきます。

〔ため池放射性物質対策工事〕

問 8,000ベクレル以上の汚染とあるが、実際の数値は。(安藤正純)

答 都市整備課長

設計段階では空間線量のみ測定であり、今回撤去する土は9,000ベクレルです。

答 産業振興課長
12,800ベクレルです。

問 特定の地点に集中しているように見受けられるが、理由は。(遠藤一善)

答 産業振興課長

全体的に再調査した結果、高濃度汚染が確認されたものです。理由については特定出来ていません。

〔曲田都市計画街路3号線外築造工事〕

問 法面の一部で放射性物質濃度が高いということだが、数値は。また、設計段階で把握出来なかったのか。(安藤正純)

答 都市整備課長

設計段階では空間線量のみ測定であり、今回撤去する土は9,000ベクレルです。

一般会計 補正予算

農地基盤整備対策事業費等を減額

《5506万円を減額補正》

農業費、消防費等の減額計上により5506万円の減額補正を行い、総額228億8189万円となりました。主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
企業誘致・産業集積促進事業費(業務委託料)	2200万円減
国庫支出金等返還金	3億7592万円増
福島再生加速化交付金基金積立金	2億2912万円増
東日本大震災救助経費(災害弔慰金)	5750万円減
農地基盤整備対策事業費(委託料・工事費・負担金等)	2億8281万円減
農地等維持修繕事業費(委託料)	7300万円減
道路新設改良事業費(用地購入費・負担金)	3194万円減
防災事務諸経費(工事請負費)	1億6200万円減
その他	3085万円減



早川 恒久 議員

問 町内に大学院大学の誘致を

答 候補となるよう積極的に取り組む

問 町長
少子化に伴う各地方大学の現状や新しい大学

答 町長
国は県内の沿岸部に大学や大学院などの誘致を検討していたが、少子化により教育機関の維持は困難と判断し、当面は見送ると発表されたが町の考えは。

問 町長
福島イノベーション・コースト構想推進分科会において、国際教育研究拠点を設ける考えがあることを国に伝えたところ。当町が国際教育研究拠点の候補に挙げられるよう今後も積極的に取り組めます。

問 町長
廃炉国際共同研究センターを有効活用するにも大学院大学の設立を積極的に国に求めるべきではないか。

答 企画課長

既に研究センターの中で事務所を構えている民間企業があります。今進めている産業団地への進出という点も当然あり得ますし、少なからず1F廃炉に関係してその技術が生かされるということになれば、さらなる発展の広がりも見えてくるかと思えます。発展について見極めながら、しっかりと応援していきます。

を設置する際の要件などの困難性を踏まえ、復興・創生期間後における東日本大震災からの復興の基盤方針に反映させ、復興庁を中心に関係省庁が連携して具体化に向けた検討を開始することを国に求めています。

問 富岡駅前のにぎわいづくりを早急に進めたい。
答 町長
現在、施設の内容や分譲する保留地の諸条件などについて協議を進めており、駅前進出への意向調査を実施し、実施希望業種や保留地の購入希望などについて確認を進めています。

問 富岡駅前の事業進出意向調査がようやく始まったが、現在の進捗状況と今後のスケジュールについて伺いたい。
答 町長
現在、施設の内容及分譲する保留地の諸条件などについて協議を進めており、駅前進出への意向調査を実施し、実施希望業種や保留地の購入希望などについて確認を進めています。

問 富岡駅前をしっかりと整備したうえで夜の森の特定復興再生拠点事業に取り組みないと、中途半端になる恐れがある。南側からしっかりと完成させるべきと考えるが町の考えは。
答 町長
町内事業者の事業再開に加え、やる気のある町外事業者の受け入れも必要であると考えます。今後は町外事業者も参入しやすい支援について検討を進めていきます。

問 富岡駅前をしっかりと整備したうえで夜の森の特定復興再生拠点事業に取り組みないと、中途半端になる恐れがある。南側からしっかりと完成させるべきと考えるが町の考えは。
答 町長
現在、施設の内容及分譲する保留地の諸条件などについて協議を進めており、駅前進出への意向調査を実施し、実施希望業種や保留地の購入希望などについて確認を進めています。

問 富岡駅前をしっかりと整備したうえで夜の森の特定復興再生拠点事業に取り組みないと、中途半端になる恐れがある。南側からしっかりと完成させるべきと考えるが町の考えは。
答 町長
現在、施設の内容及分譲する保留地の諸条件などについて協議を進めており、駅前進出への意向調査を実施し、実施希望業種や保留地の購入希望などについて確認を進めています。



発展と活用が望まれる廃炉国際共同研究センター

問 やる気のある事業者に対して、町内に限らず町外の事業者も積極的に受け入れて支援すべきでは。
答 町長
町内事業者の事業再開に加え、やる気のある町外事業者の受け入れも必要であると考えます。今後は町外事業者も参入しやすい支援について検討を進めていきます。



にぎわいづくりの拠点となる富岡駅前

問 廃炉による歳入不足対策は

答 財源措置を県・檜葉町と国へ要請



安藤 正純 議員

問 町長
第二原発は第一原発の影響を直接被り全町避難を余儀なくされるなど通常廃炉とは全く異なる」と訴えるとともに、更なる復興と持続可能な行政サービスの提供に資するため、財源措置を県及び檜葉町と要望しました。

外搬出はもとより、放射性物質を含んだ解体廃棄物の処分についても、今後示される廃止措置計画の中で明示を求めています。

問 副町長
県知事・関係13市町村の連名で、経済産業大臣に対し、放射性物質については国の責任において処分方法の議論を進め、県外において適切に処分することを申し入れしております。

問 台風・大雨からの反省と対策は

答 災害対応のマニュアル化を実施

問 町長
台風19号の対応は3連休明けの、10月15日(火)からであったのは事実か。

答 町長
避難先の自治体に対し富岡町がどこまでできるか、しっかりと検証し今後の発生に対応できる体制を整えます。



台風19号による被害(滝ノ沢)



台風19号による被害(町道滝川ダム線)

【令和2年3月のJR全線再開通へ向け、駅前先行解除へ】



再開通に向けた試運転(JR夜ノ森駅)

※防犯対策として警察官の立ち寄り、委託警備会社の巡回が検討されている。

令和2年3月10日

富岡町内の帰還困難区域としては初の避難指示解除。

JR常磐線全線再開通は令和2年3月14日を予定しており、新たに設置された橋上駅を利用した乗降が可能となる。

先行解除範囲は、駅東側の町道と県道合わせて約1.1km、道路沿いへのバリケードやフェンスの設置等防犯対策を講じる。

【リフレ富岡解体へ、施設整備検討方針を提示】

◆現在の施設を解体・撤去し、全体規模を縮小した上で同一立地により施設を整備する。

◆求められる機能・規模

- (1) 温浴施設……温泉浴場、サウナ、更衣室、休憩室、受付、事務室を設置
- (2) 健康増進施設……心と体の健康を維持・増進するために全身運動が行える健康増進施設を設置

※(1)(2)の機能・規模から基本構造を平屋建ての施設とすることが望ましい。

◆考慮すべき視点

- (1) バリアフリー (2) 省エネルギー・省コスト
- (3) インバウンド対応 (4) ユーティリティスペース
- (5) 「夜の森の桜」を活かしたデザイン



【特定復興再生拠点区域整備アクションプラン(案)を議論】

特定復興再生拠点の整備イメージ

※今後の検討状況により変更となる場合があります。富岡公共施設の配置は町全体の居住人口や人口分布、年齢構成等を勘案しながら検討していきます。



再生・発展に向けた三本柱	町内外とのつながり	教訓を生かした防災
復興に向けた足取りを確認します	住みやすい環境を創ります	想定外も想定内とする防災に取り組みます
<ul style="list-style-type: none"> 住みの再生・買い物環境の整備 桜並木等の交流環境の整備 住みながら健康寿命の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの運行ルート変更 巡回バスやタクシー利用の支援 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーゼロ住宅を推進します 警備員の防災意識を高め継続させます

健康づくり

みんなで心も体もリラックス！！



健康増進施設 調整中

○リフレ富岡の跡地に新たな健康増進施設を整備します。
○大きな浴槽で足を伸ばして入浴し、心も体もリラックスできる温泉施設を再整備します。
○ロッカーや更衣室を備えたランナーステーションを整備し、気軽にランニングを楽しめる環境づくりを進めます。
○子どもからお年寄りまで、運動が得意な人も苦手な人も、自分のペースで気軽に楽しむことができる運動スペースを整備します。

※今後の検討状況により変更となる場合があります。

健康増進施設や夜の森つつみ公園の再整備などにより、町民の「健康寿命」を伸ばし、町民が元気を取り戻すまちづくりを進めます。

自然を感じながら楽しむ運動公園



夜の森つつみ公園

○四季折々の花や緑を眺めながら、ランニングやウォーキングなどができるモデルコースを整備します。

住みながら健康への意識が高まるまちづくりに向けて

○ランナーステーションをスタート地点とした、地域を周遊するモデルコースを設定します。
○歩道には、走行距離を確認できる案内板などを設置します。

ランニングコースイメージ図

- 対象エリア：帰還困難区域内の特定復興再生拠点区域
- アクションプランを支える3本柱

①「くらしの再生」

- ・町営住宅新田団地を令和5年春頃を目指して復旧
- ・拠点区域内に買い物環境を整備
- ・双葉警察署夜の森駐在所再開、警官立ち寄り所設置

②「新たなにぎわいづくり」

- ・夜の森公園、桜並木、健康増進施設の連動によるにぎわい創出
- ・夜の森公園では「多世代間交流」「四季を通じた賑わい」という視点での整備
- ・桜並木は、後世に守り・育て・繋いでいく観点から植樹帯の整備、桜並木の改良や適切な維持管理

③「健康づくり」

- ・温浴施設や更衣室等を備えたランナーステーションを整備
- ・夜の森つつみ公園を自然を感じながらランニングやウォーキングを楽しめる公園として整備。モデルコース設定や案内板も整備
- ・蓄電設備を備えた住宅の推奨や給水・充電ステーション整備等震災を教訓とした災害に備えたまちづくりを推進

議員が切り込む!! 質疑応答

【特定復興再生拠点先行解除】
 駅にインターホン設置とのことだが、受け手はJRか。フェンスを高くするのは良いが強風対策はどのように考えているのか。(堀本典明)

答 内閣府
 通話先はJRとなります。何かあれば近隣の有人駅から職員が駆け付けます。フェンスについては目隠しにパイプを繋ぎ配置します。

問 防火対策の草刈りについて個人の対応では困難だと考えるが、町の考えは。
 (高橋 実)

答 生活環境課長
 原則は個人の管理となります。町では除草剤を配布し対応頂けるようお願いしています。

【健康増進施設整備】
 拠点区域の重点事業だとは承知するが、夜の森地区に再度建設するのか。
 (早川恒久)

答 健康づくり課長
 立地場所は同一敷地としていきます。富岡地区のみではなく、町全体を考えた結果、町有地の有効活用も兼ねて判断しました。

問 状況は承知するが、今後の富岡町の財政を考えると不安。ランニングコストや業務委託の予算は。
 (早川恒久)

答 健康づくり課長
 既存施設の過去の実績を踏まえて規模や施設整備等、検討し、管理運営に反映させていきます。

【特定復興再生拠点アクションプラン】

問 ランニング・サイクリング、健康増進施設しっかりとコース作りを。
 (堀本典明)

答 企画課 主幹
 県内、県外の先進事例を確認し設定していきます。

問 桜並木、桜の老朽化が課題。植え替え等実施すべきと考えるが。
 (早川恒久)

答 企画課長
 桜は町の誇りであり、道路管理者と詰りながらしっかりと取り組んでいきます。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した 主な事業について報告します。

※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜ 職員の新規採用状況及び今後の人材確保は ＞

Q 新規採用職員8名とあるが、退職者数等勘案して対応できるのか。

A 退職予定者等の状況を踏まえ、今回の採用人数で対応可能と考えています。土木職は1名採用、他は応援職員で対応している状況にありますが、復旧復興事業の落ち着きによっては現有職員で対応も可能です。今後若い職員の不足が懸念されます。

【総務課】



＜ 町営住宅の機能回復工事放射線量等対策を ＞

Q 機能回復工事实施中の町営住宅の放射線量等について問題はないのか。

A 工程管理、会議内で環境省も同席し対応しています。線量が高いと考えられる屋根についてもしっかりと線量を測定し、改修工事の進捗状況を踏まえながら対応してまいります。

【総務課】



改修工事が進む王塚第2団地

＜ 空き家・空き地バンクの今後の運用方法は ＞

Q 停滞している空き家・空き地バンクだが来年度以降の運用はどのように考えているのか、展望は。

A 空き家・空き地バンクは今年度での事業終了を検討しています。町内で事業を再開している民間宅建業者との意見交換も実施し、今後は移住相談等も踏まえ宅建業者と連携しスピード感ある空き家・空き地の活用を図っていきます。

【企画課】

＜ 来年度の新聞配送業務は ＞

Q 新聞配送、運用が変わることによる町民への影響は。

A 新聞配送は独立採算制による完全民間業務へ移行します。運用方法変更による町民の方への影響はありません。



【企画課】

＜ 仮設・借上げ住宅入居者の今後の見通しは ＞

Q 今年度で退去となる仮設住宅だが、入居者の方の今後の見通しは。

A 仮設住宅に関しては、数件見通しが立っていない方がいます。借り上げ住宅についても意向調査を実施しましたが、未だ見通しが立っていない方が多い状況です。

【住民課】

＜ にこにこフェスティバル、より一層の賑わいを ＞

Q にこにこ子ども園で開催したフェスティバルだが、参加者が少ないように感じた。えびす講市、福祉まつり等と連携した集客検討を。



A 今回は約130名来場頂きました。町内各所でイベントを実施しているため、来年度は関係各課と調整し周知啓発を図っていきます。

Q 町内各所でのイベント開催により、来場者が分散し、来場者の移動も大変だと思われる。日程や開催場所の検討願う。

A 町全体でイベントを盛り上げたいという考えのもと開催しましたが、中心部から離れると集客が難しくなることは感じました。来年度の検討課題としていきます。

【教育総務課】

＜ 合宿センター整備の考え方について ＞

Q 再整備を予定している合宿センターだが、基本設計段階の仕様はどのように考えているのか。

A 施設の規模感、整備候補地を含め、基本設計の中で検討しています。震災前の利用状況を踏まえると80名程度の利用を想定しつつ、候補地の状況も踏まえながら今後施設の規模を固めてまいります。

【生涯学習課】



夜間の施設利用も再開(水曜日)



- 議会事務局
- 出納室
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 所管課

※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜ 台風19号・豪雨災害により被災した町民のケアを ＞

- Q** 避難先で被災した町民の方への対応状況と、心のケア、対応マニュアル整備を。
- A** 電話連絡、訪問、支援物資等の配布を実施しました。役場本庁、各支所、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と連携し、反省を生かし役割分担、体制の確保を図ってまいります。
【いわき支所・郡山支所】

＜ 排水・側溝等の落ち葉対策について ＞

- Q** 台風・豪雨により側溝等へ落ち葉が溜まっている。人通りの多い場所など早急に対応すべき。
- A** 側溝等の落ち葉についてはパトロールを実施しながら優先順位をつけ順次対応しております。越流しそうな場所はもちろん、人通りの面からも検討いたします。【都市整備課】

＜ 産業団地工事車両のマナー徹底を ＞

- Q** 産業団地工事車両の運転マナーについて、未だ危険な運転等見受けられる。しっかりと事故のないよう指導願う。
- A** 工事車両に関しては、随時指導を実施していますが、現場に確認し、再度マナーの徹底を申し入れます。
【都市整備課】



令和2年4月の供用開始に向け整備が進む産業団地

＜ 町内の街路樹管理について ＞

- Q** 街路樹で車道に飛び出している枝葉、きちんと伐採願う。側溝や車道に落ちた葉や枝もスリップの原因となる為しっかりと対応を。
- A** 街路樹の管理について、建築限界の高さまでの通路確保、スリップ防止等しっかりと実施していきます。
【都市整備課】

＜ 総合健康診断実施回数、開催場所検討を ＞

- Q** 健康診断実施期間が短かく、町内での開催日が少ない状況である。町内の診療所等での実施検討を。
- A** 現在は各医療機関と契約していない為実施出来ませんが、今後各医療機関が対応可能か確認し、県の医師会とも協議を実施します。町民の方が受診しやすい環境の整備に努めます。
【健康づくり課】



＜ 農地保全業務の進捗管理、確認について ＞

- Q** 保全業務、実施箇所によってバラつきがあると指摘があった。進捗、成果確認は実施しているのか。
- A** 保全管理業務については、その都度現場の確認を実施し、不備があれば代表者に連絡し対応しています。
【産業振興課】

＜ ふれあい農園、関係機関の協力を ＞

- Q** ふれあい農園で思うように作物が育たない状況がある。農業普及所に依頼し土中の成分分析等実施し助言を得てはどうか。
- A** JAふくしまさくら及び農業普及所含めて今後の対応について協議してまいります。
【産業振興課】



にぎわいが期待されるふれあい農園



- 生活環境課
- 産業振興課
- 農業委員会
- 健康づくり課
- 福祉課
- 都市整備課
- 郡山支所
- いわき支所
- 【所管課】

福島東高校の1年生が議場を見学



去る10月8日(火)福島県立福島東高等学校の1年生が富岡町の視察に来庁し、議会議場や委員会室、全員協議会室等を見学しました。

見学の際には実際に着席し、議場システムの模擬体験など普段出来ない体験に皆さん緊張しつつも、説明に耳を傾けていました。



議会の仕組みや設備を学ぶ



初めての議場に緊張する高校生



議場の見学希望お待ちしております。詳しくは富岡町議会事務局まで気軽にご相談ください。

猪苗代町議会議員の皆さんが視察研修に来庁

10月31日(木)に猪苗代町議会の長沼議長初め、議会広報編集特別委員会の議員の方々が視察研修に来庁されました。

当町の「議会だより」編集方法やスケジュール、役割分担や町民の皆様へ伝えたい思い等について堀本委員長より説明させていただき、よりよい議会報編集に向け積極的に意見交換を実施いたしました。



視察に来庁された猪苗代町議会の皆さんと記念撮影



研修風景

要望① より安全な燃料取り出し工法の選択を



遠藤一善議員

1号機の燃料取り出しに際し大型カバーを設置する案も検討するとのことだが、工法決定の判断基準について示せ。

ダストの飛散防止、作業員の被ばく、雨水対策、周辺工事との緩衝の4点を検討材料とし、安全安心の確保を目的に総合的に判断してまいります。



東京電力(株)

要望② 排気筒解体作業員への安全配慮を



東京電力(株)

今回の排気筒解体に関する作業員による手作業の実施は遺憾。人的な負担をかけないよう作業手順の確認と安全管理の徹底を願う。

モックアップ装置を通しての訓練や各種作業の見直しを実施したものの、想定外の案件により手作業となっていました。今後は再度見直しを実施し、安全第一に進めてまいります。



高野匠美議員

要望③ 3号機燃料取り出しに向けた確認状況は



早川恒久議員

がれき撤去による状況確認実施中とのことだが、保管されている燃料の現在の確認状況と今後の取り出し方法について示せ。

現在566体中286体の状況を確認しています。引き続きガレキの撤去と確認作業を実施し、健全性を確認の上、取り出し方法について検討してまいります。



東京電力(株)

要望④ 営業損害超過分の判断基準明確化を



東京電力(株)

営業損害超過分の賠償等、対応の判断基準が不透明である。判断の基準について示せ。

賠償に至らなかった代表事例ですが、未だ休業を継続されていたり、将来分一括支払いを消化されていないもの、売り上げが事故前の水準に回復しているケースなどがあります。移転や転業が困難なケースなど、今後も個別事情をお伺いして対応してまいります。



安藤正純議員

復興への あゆみ

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのを送っていると、富岡町が今どうなって皆様の先が見えない不安を少しでも解消でき

は『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活しているかわからない』という声です。るように、富岡町の現状をお伝えします。

2019 秋・冬 町内各地でイベントが開催されました！

富岡町立小中学校富岡校世代間交流発表会 2019.11.9




富岡えびす講市 2019 2019.11.9




町民グランドゴルフ大会 2019.11.9




富岡町立小中学校三春校学習発表会 2019.10.26





にこにこフェスティバルⅡ 2019.11.9





ふたばワールド 2019 in Jヴィレッジ 2019.10.5





にこにこ子ども園クリスマス会 2019.12.18





アーカイブ施設起工式 2019.11.22




ちよひとと

みなさまの声

Q. 20歳を迎えた感想は？

A. 20歳を迎えたからと言って特に感じることはありません。ただ、意識付けという意味では、今まで以上に広い視野で周囲の状況を把握し、そこで必要な情報を確実にキャッチしながら責任と自覚のある行動を心がけていこうと思います。

Q. 20歳を迎え、まずやってみたいことは？

A. 富岡の仲間と双葉郡内の居酒屋を巡りたいです。震災当時の話でも、将来像についてでも話題は何でも構いません。とにかく話して、これまでとこれからの情報を共有したいのです。

Q. ふるさと富岡での思い出で、心に残っていることは？

A. 自宅がグリーンフィールドや野球場の側に立地していたため、とにかく外で友人と鬼ごっこやキャッチボールをしたことが特に印象に残っています。また、その友人と今回実行委員を共に全うできたことが非常に感慨深いです。

Q. ふるさと富岡の復興のために、何が必要だと思いますか？

A. ソーシャル・キャピタル指数の向上だと考えます。やはりソフト面の復興を搦らせるためには、行政と住民、住民と住民がよりエンパシーをすることによってそこにはラポールのシナジーが生じます。そうすれば、自然と社会的ネットワークが共存するはずです。

Q. 将来の夢は？

A. 具体的な職種は必定していませんが、何らかの形で富岡町に貢献するという志は強く持っています。今はまだ模索中であるため、大学で勉学に励みつつ、双葉郡内の社会活動に参加し、知見を増幅しているところです。



成人式実行委員長
井出大雅(いでたいが)さん

議会を傍聴しませんか？

- 3月定例会は、3日(火)～6日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

本年はJR常磐線の全線再開通、帰還困難区域の一部避難指示解除と、町の復興・再生に向け大切な一年になりました。

表紙は成人式で同級生と久しぶりに再会し満面の笑みを浮かべる写真です。将来を担う新成人の笑みを絶やさないうような町の発展に尽力してまいります。

現在の編集委員での発行は最後になりますが、今後とも議会報へのご協力よろしくお願いたします。

(遠藤 一善)

発行責任者

議長 塚野芳美

議会報編集特別委員会

委員長 堀本典明

副委員長 渡辺高一

委員 渡辺正道

委員 高野匠美

委員 遠藤一善

委員 安藤正純

